

参加無料

尾張に

流寓りゆうぐうした

明遺民みんいみん

6/4(土)

午後2時~3時

定員
10名

明清交替期（17世紀）に清朝の支配を拒否する、滅んだ明朝の遺民が中国から来日しました。彼らは儒教・仏教・文学・芸術・医学など様々な面から、当時の日本社会へ大いに貢献しました。本講座では、明遺民来日の歴史、とりわけ尾張藩（名古屋）に移住した明遺民、張振甫ちやうしんぽと陳元贊ちんげんびんについて、千種区に残る史跡と共に紹介します。

場所 千種図書館 1階集会室

講師 顧嘉晨こかしん（東京大学人文社会系研究科 日本学術振興会 特別研究員）

申込 5月21日（土）午前9時30分～
来館および電話受付（先着順）

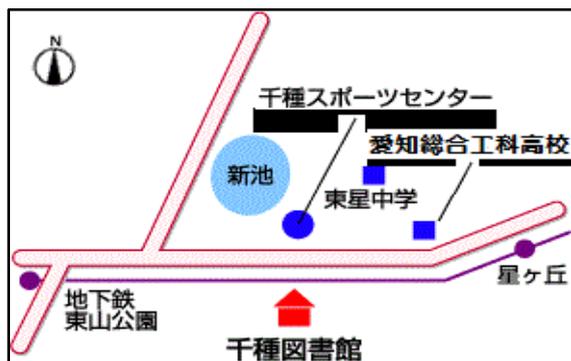
張振甫

尾張藩で活躍した遺民医者。現在の千種区振甫町という地名の由来。

陳元贊

尾張藩に仕えた遺民学者。詩書や製陶の才に優れる。尾張で焼いた元贊焼という陶器名の由来。

※新型コロナウイルス感染症防止のため、中止となる場合があります。



名古屋市千種図書館
千種区田代町字瓶入 1-137
Tel (052) 781-7431 Fax (052) 781-7447
・地下鉄なら…東山線「東山公園」から東へ約500m、「星ヶ丘」から西へ約500m
・お車なら…駐車場（14台収容）が利用できます。
※台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関等をご利用ください。